

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 5月 6日

事業所名 Sunny Kids (児童発達支援)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	0.2	0.8	利用人数に合わせ物の配置や移動を決めている。	児童が安全に生活できるようにスペース確保に努めていく。
	2	職員の配置数は適切である	0.9	0.1	人員配置は満たしている。	より良い支援ができるように利用人数・状況に合わせて人員確保を行っていく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	0	玄関や出入口にスロープの設置。車いす専用トイレも完備している。	引き続き不備がないか定期点検に努めていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	0.6	0.4	ベビーサークルなどを活用し活動に合わせた空間を確保している。	引き続き、心地よく過ごせるように清潔な環境整備を心がけていく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	0.8	0.2	朝礼・終礼・会議等で話し合いの場を持ち業務改善を行っている。	引き続きPDCAサイクルを活用しより良いサービスができるように業務改善に努める。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	0.7	0.3	アンケート内容を踏まえ業務改善につなげている。	引き続き保護者様の意向やご意見があれば業務改善を行っている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0.7	0.3	ホームページにて公表すると同時に結果等の報告を配布物としてもお配りしている。	引き続きホームページや配布物などをお配りし公開していく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	1		外部評価の実施はできていない。今後実施を検討していく必要がある。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	0	外部研修に参加したり年間で毎月のテーマを決め研修を行っている。	今後も職種に応じ外部研修へ積極的に参加していく。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	0.9	0.1	保護者様のニーズや課題を毎回更新するたびにお聞きし作成している。	引き続き保護者様の意向やニーズなど積極的にお聞きし作成していく。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0.7	0.3	アセスメントシートを盛り込んだ利用調査表を活用している。	引き続き必要に応じてアセスメントの見直し、職員間で話し合いを行い計画書を作成していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	0.7	0.3	支援内容の項目は適切に選択し、具体的な支援内容を設定し作成している。	引き続き、職員・保護視野様にも分かりやすいような支援内容の設定に努める。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	0.8	0.2	個々の特性を把握し支援している。	活動・遊びの中で支援計画を意識した支援を行っていく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	0.6	0.4	各職種で話し合いを行いプログラムを立案している。	引き続き各職種での話し合いを行い立案していく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	0.7	0.3	各職種で話を行っている。	各職種の意見を取り入れ活動のバリエーションを増やし、季節のイベントや製作を取り入れ工夫している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	0.8	0.2	個々の能力に合った計画書を作成し支援している。	引き続き個々に合った支援計画を作成し支援していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	0	デイ独自の処置一覧表・送迎表を用いて確認している。	引き続き、処置一覧・送迎表を活用しその日の支援や役割分担を確認していく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	0	その日気になった事等は職員間で話し合いを行っている。	引き続き、支援終了後に気になったことなど話し合いを行い職員間で共有していく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	1	0	デイでの様子は個人日誌を作成し記入している。	引き続き、個人日誌を活用し支援の検証・改善につなげていく。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	1	0	6ヶ月に1度モニタリングを行い計画書の見直しを行っている。	引き続きモニタリングを定期的に行い個々の計画を見直していく。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	0.9	0.1	児発管・看護師・保育士が参加するようにしている。	引き続き、児発管・看護師・保育士が可能な限り参加する。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	0.7	0.3	関係機関と必要に応じて連携している。	引き続き、必要に応じ連携していく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0.8	0.2	関係機関と必要に応じて連携している。	引き続き、必要に応じ連携していく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	0	医師の指示書を活用している。	引き続き、更新前にはお声掛けをし指示書更新の案内をおこなっていく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	1		現在はまだ該当児童が居ないので希望される方がいれば積極的に情報共有・相互理解を図っていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	1		来年度、特別支援学校に入学予定の児童がいてるができていない。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0.8	0.2	必要に応じて連携している。児童発達支援センター主催の研修にも参加している。	引き続き、児童発達支援センターと連携を取り助言や必要に応じて研修に参加していく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	1		重心児童対象なデイなこともあり中々交流の場を設けることができない。保護者様より希望があれば検討していく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	0	1		参加できていない。参加する機会があれば参加したい。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	1	0	連絡帳を用いてデイでの様子を記載し送迎時も直接保護者様に状況をお伝えしている。	引き続き、デイでの様子や状況を連絡帳に記載していく。送迎時も保護者様と情報共有を行っていく。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0.1	0.9		行えていないのが現状なのでペアレントトレーニングを行えるよう研修に参加し理解し今後は積極的に行っていく。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1	0	契約時に重要事項説明書・契約書を用いて説明している。	引き続き、重要事項説明書・契約書を用いて説明を行っていく。
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	0.7	0.3	ガイドラインに基づいた支援計画を作成している。	引き続き、具体的な支援計画を作成し説明を行っていく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	0.8	0.2	相談があった際には適切に助言・対応ができるように心がけている。	引き続き、内部研修や外部研修に参加し適切な助言や相談ができるように努めていく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	1		行えていない。保護者様の希望を聞き今後取り入れていく。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	0.7	0.3	適切に対応ができるように心がけている。	引き続き、相談や申し入れがあった場合は迅速に対応できるように心掛けていく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0.6	0.4	ホームページや配布物・連絡等で発信している。	引き続き、情報発信を行っていく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	1	0	利用者様情報は個々のファイルにまとめ鍵付きロッカーにて保存している。	引き続き、取り扱いには注意していく。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	0.9	0.1	電話・文章・写真・個人日誌の提示を行い情報伝達している。	引き続き、保護者様・児童に合わせた対応を心がけていく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	1		コロナ禍なこともあり地域住民を招待するような取り組みはできていない。今後落ち着けば行事の招待など行っていきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	0.8	0.2	職員に対しては内部研修を通し周知している。	今後は保護者様にも周知していただけるよう配布物などを配り周知していただく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	0	定期的を実施している。	引き続き、災害に備えた避難訓練を実施し迅速に避難ができるように取り組んでいく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	1	0	事前面談時にお聞きしたりフェイスシートを用いて必要な情報を記入していただいている。	引き続き、保護者様から服薬の変更や予防接種・家での発作状況を確認していく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	0	利用時にフェイスシートを用いて必要な情報を記入していただいている。	引き続き、食物アレルギーの把握に努める。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	1	0	職員がいつでも閲覧できるようにしている。	引き続き、貴事業所内で共有し防止に努めていく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	0	毎年、虐待に関する内部研修を実施。外部研修や大阪府から案内が来る研修にも必ず参加している。	引き続き、内部研修・外部研修に参加し虐待防止に努めていく。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	1	0		現在、身体拘束をするような児童がいない。今後必要とする児童が居れば十分に説明を行う。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。